第47回

時間学カフェ

日時：2026年 12月 15日（火）13時30分～
会場：山口大学吉田キャンパス 福利厚生施設 FAVO 多目的ルーム

話題提供者

武宮 淳史 先生（山口大学大学院創成科学研究科・教授、時間学研究所・兼務所員）

【植物は気孔を開く時を知っている】

植物は葉の表面にある小さな孔「気孔」を開閉することで、光合成に必要な二酸化炭素を取り込み、水分の放出を調節しています。では、植物はいつ、どのようにして気孔を開くのでしょうか？植物は概日時計によって昼夜の変化に備えるとともに、光を情報として利用し、気孔の開閉を巧みに制御しています。今回の時間学カフェでは、植物が青色光を感じて気孔を開く仕組みについて、最新の研究成果を交えながら紹介し、植物がもつ巧妙な環境応答の世界に迫ります。

時間学カフェとは。。。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・この世の、あらゆることがらは時間と関係しています。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

気ままに、話の赴くままにお喋りしてみませんか？
色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません。

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！
先生、職員、学生、学外の方、どなたでも参加ＯＫ

♪参加無料
♪申し込み不要
♪途中入退室ＯＫ

お問合せ先

時間学研究所事務室
Tel：083-933-5848
E-mail：
sh076@
yamaguchi-u.ac.jp